

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	5	グループホームの案内パンフレットや半年毎に発行する「フジケアメール」を役所の介護保険課や生活保護課などの窓口を持って行っておらず、行政に取り組みを報告・交流する機会を活かしきれていない。	役所の介護保険課や生活保護課などの窓口にも案内パンフレットや半年毎に発行する「フジケアメール」を持って行くことで行政に取り組みを報告・交流する機会を増やす。	役所に行った際は、各課の窓口案内パンフレットと半年毎に発行する「フジケアメール」を持って行き、取り組みの報告・交流の機会とする。	2 か月	
2	28	医師・看護師など他職種からの意見はケース記録に落とし込み、プランにつなげているが、意見を担当者会議録やプラン内に記録を残していないため、ケアプラン作成に活かしていることが分かりにくく、また、いただいた意見がもれることもありうる。	医師・看護師など他職種からの意見を担当者会議録やプランにも記録を残すことで、意見をもれなくケアプラン作成に活かすことができる。	医師・看護師など他職種からの意見をいただいた際は、日にち・名前・意見内容を担当者会議録やプラン内に記録する。	3 か月	
3	4	ご家族へ地域運営推進会議の案内を行なっているが、なかなか参加につながらず、会議の幅を広げることができていない。	地域運営推進会議をご家族が参加しやすいものとなるようにして、参加されたことがないご家族にも参加していただき、交流の場として意見交換が行えるようにする。	行事のある日に地域運営推進会議を設定して、全ご家族へ行事および会議への招待状を送付し、意見交換の場として活用する。そして、疑問・不安等をお聴きし議題とすることで認知症の理解を深める。また、来年28年度から、系列の認知症対応型デイサービスと合同開催とする予定である。	6 か月	
4	25	センター方式の一部を現在活用し、アセスメントを実施しているも、ご本人・ご家族の深い思いまでアセスメントできていないため、アセスメントシートを見直して実施する必要がある。	ご本人・ご家族の思いを深く再アセスメントすることで、思いに添った支援が可能となる。	現在のアセスメントシートの内容の見直しを行ない、「私の心の言葉ノート」とセンター方式を活用したアセスメントシートを作成する。そして、新たに作成したアセスメントシートを活用し、ご本人・ご家族の深い思いの再アセスメントを行なう。	6 か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()